

令和2年度 常澄中学校体育祭

9月4日（金）、令和2年度第60回体育祭を実施しました。当日は、朝から暑さを感じ、熱中症防止のため、WBGTを測りながらの進行となりました。開会式に臨む生徒たちの表情から、この体育祭にける意気込みが伝わってきました。

時間と参加規模を縮小しての実施ではありましたが、どの学年の生徒も、自分のため、あるいは学級のために全力で種目に取り組んでいました。正午近くになり、かなり高温になったため、午後予定していた部活動の引継ぎ式と閉会式は、9月7日（月）に延期いたしました。

今回の体育祭で特に素晴らしかったのが、あいさつと礼の徹底、自主的な係活動への取り組みです。この成果を今後の学校生活のみならず、常澄中学校の伝統として継承していけるように支援していきます。



体育祭実行委員長 黒澤 龍之介さんの感想

ほくが体育祭を行って感じたことは、一人一人が本気で挑んでいたということです。今年は今までの体育祭とは違い、時間を短くして、密になる種目は別の種目に変えるなど、様々な制限がある中、常澄中の全ての生徒から「勝ちたい」という気持ちが感じられました。

3年生は、1、2年生の見本となるような熱い気持ちで戦うことができました。僕は、このような熱い体育祭をこれからの常澄中学校の良き伝統として繋げていってほしいと思います。

